

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 技術・家庭 技術分野

番号	発行者略称	教科書番号
観点	東書（東京書籍）	002-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○技術分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り入れられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、木材、金属、プラスチックの特徴や性質、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて関連づけて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見だし解決する学習活動を通し材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・B「生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術を工夫し創造したり発展させたりする活動 ・C「エネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・D「情報の技術」において、双方向性のあるチャットシステムを題材として生活や社会の中で使われている情報の技術を見つけ、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習活動を設定し、見通しを持たせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、ガイダンス「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の概要やプロセスを通して見通しを持たせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置づけるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○單元ごとに「目標」「学習課題」「まとめよう」の3段階で構成されている。</p> <p>○SDGsとテクノロジーについて、見開き2ページにわたり取り上げられている。</p> <p>○内容の分量については、総ページ数は298ページ、前回より3%減となっている。</p> <p>○北海道とかかわりのある内容を7ページ取り扱っている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○問題の発見や課題設定のイメージを持たせるための3コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気づかせるための「技術のめがね」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各節の冒頭に考えを交流しあう「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ページ下「技術の工夫」欄において、日常生活との関連や知識の幅を広げる工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 技術・家庭 技術分野

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教図(教育図書)	006-73・006-74
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科 各学年の目標・内容等	<p>○技術分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り入れられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「材料と加工の技術」において、弁当箱を題材に身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身のまわりで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・B「生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、農場や林業施設、家畜飼育施設の特徴を比較し、社会における技術の在り方についてまとめることを通し、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・C「エネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・D「情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、みつけることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習活動を設定し、見通しを持たせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3学年間の学習の見通しを持たせるとともに、「材料と加工の技術『技術をみつめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置づけるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての章が、「技術を見つめよう」「技術を生かそう」「未来をつくろう」の3段階で構成されている。</p> <p>○各単元に「キーワード」が表記され、学習内容のポイントが整理されている。</p> <p>○内容の分量については、総ページ数は304ページ(別冊「スキルアシスト」を含む)、前回より12%減となっている。</p> <p>○北海道とかかわりのある内容を10ページ取り扱っている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○別冊として技能資料「スキルアシスト」が付属されている。</p> <p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 技術・家庭 技術分野

番号	発行者略称	教科書番号
観点	開隆堂（開隆堂）	009-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○技術分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り入れられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、木材、金属、プラスチックの特徴や性質、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・B「生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴や森林の育成技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて多角的に理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・C「エネルギー変換の技術」において、エネルギー利用の歴史から最新の技術や身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通し、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通してエネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・D「情報の技術」において、情報の技術と身のまわりにある製品やサービスとの関わり、情報やアナログ信号をデジタルに変換する概念などについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習活動を設定し、見通しを持たせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、3学年間の学習の見通しを持たせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置づけるなど、小学校や他教科とのつながりを意識しながら、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○4つの内容ごとに「学習の目標」「学習課題」「内容」「Check」で構成されている。</p> <p>○巻頭にSDGsについて記載されている。</p> <p>○内容の分量については、総ページ数は314ページ、前回より4%増となっている。</p> <p>○北海道とかかわりのある内容を13ページ取り扱っている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○問題の発見や課題設定のイメージを持たせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各節の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされており、大変よくできている。</p> <p>○学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p> <p>○各ページの右上に、用具の写真や名称の記載があるなどの工夫がなされている。</p>	
その他	<p>※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	